

報告日 令和7年12月18日

報告回次 1日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	鹿児島市			代表者名	下鶴 隆央
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	デジタル戦略推進課	連絡先電話番号	099-216-1115
担当者役職	主査	担当者氏名	濱田 修平	連絡先E-mail	
住所	892-8677 鹿児島県鹿児島市山下町1 1 番1 号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	次期DX推進計画策定事業		
概要	鹿児島市では「ICTで住みよいまち」を基本理念とするDX推進計画に基づき各種施策に取り組んできており、現在、次期DX推進計画策定にむけて、その骨子案を作成中である。より良い、より実効性のある計画としたいと考えており、アドバイザーの知見に基づく助言・提言をいただきたい。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） 計画策定支援				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	778	令和7年12月12日	支援・助言	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年11月26日	支援・助言(実地)	13時30分	16時30分	
				活動時間（分）	180

2-2.

派遣場所	会場名	鹿児島市役所	最寄駅	鹿児島中央駅
	所在地	鹿児島県鹿児島市1 1 - 1	最寄駅からの交通手段	市電・市バス・民営バス

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	・豊富な行政への支援経験に基づき、他都市での取り組み実態を示しながら、職員が内容を理解しやすい・受け入れやすいよう工夫した形で、意見や指摘等いただけたため。 ・特に、行政や行政職員が陥りがちな状況・問題点についての理解が深く、説得力のある言葉での指摘や、より本質的な見方を促すアドバイスをいただけたため。 ・情報化アドバイザーとしての支援であったものの、デジタルは手段の1つにすぎないというより高位の視点・広い視野から、組織運営や職員の人材育成について、意義深い意見がいただけたため。
アドバイザーへの要望事項	・特になし



4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	7人
	自治体職員	住民	企業・団体
人数	7		その他(学生など)

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的に記入下さい）	（現況） ・本市の現行のDX推進計画は、その期間を令和9年3月までとしている。 ・次期DX推進計画策定に向け、市民意識調査や職員意識調査を実施した。 ・各種調査結果や国の動向等を鑑み、次期DX推進計画の骨子案を作成しているところ。 （課題） ・内部職員による骨子案作成であり、外部の目によるチェックや、より広い視野からのアドバイス等いただく機会が持てていない。
支援により目指す成果（具体的に記入下さい）	（目指す成果） ・職員が作成中の次期DX推進計画骨子案について、内部職員だけでは不足している観点等について気づきをいただくとともに、今後計画の素案を作成し骨子から肉付けしていくにあたり、よりボリュームを持たせるべき点や、意識して入れ込むべき内容について、有効な意見等をいただくこと。 （長期的に目指す成果） ・令和9年4月から施行される次期DX推進計画を、より有効な内容にすること。同計画に基づき、令和14年3月の計画終了期間までに、各種施策を推進していくこと。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記入下さい)		・本市の次期DX推進計画の骨子案作成について、我々職員だけでは持ち得なかった、外部の目線・アドバイザーの知見・経験からのアドバイス・提案等いただいた。 (アドバイス・提案等の概要) ○市政運営レベルの内容：総合計画に対する職員の理解度向上のための工夫、人材マネジメントの強化、経営層・管理者層の意識改革、職員の役割の整理(正職員は何をすべきか)と職員の理解を得るための取組が必要 ○DX推進計画に関する内容：DX推進計画と上位計画関連の整理、単なる継続した計画・取組でなく市民や職員にとって魅力を感じさせる計画となるようなフレーズや見せ方の必要性、DXの取組の庁内外の広報・発信力強化、これまでのDX取組に対する職員評価の整理、産業分野の計画上整理のアドバイス、その他各種デジタル施策や技術の活用法についての意見提言	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)		・DX推進計画骨子や本市のこれまでのDX推進の取組について、様々な角度、レベル感でのご指摘等いただけたため、外部の目線から有効な意見等をいただくという今回の支援の趣旨に則した、十分な成果が得られた。 ・アドバイザーからいただいた意見等について、その内容や趣旨・発想等を、本市内部で十分に咀嚼したうえで、これから行っていく計画の肉付けや、計画理念の整理・見せ方の工夫等に反映し、よりよいDX推進計画を市民・職員に発信できるよう、今後とも策定作業に取り組んでいく。	
具体的な成果物		最も当てはまるものをリストより選択下さい。 (令和9年3月に次期DX推進計画を策定予定)	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)		・特になし	
アンケートの内容と分析結果		講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果について記入下さい。(E X C E LやP D Fでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由を記入下さい。 アンケート無し：デジタル戦略推進課職員(DX推進部長含む)と意見交換を行う支援であり、アンケートを行う類の支援ではなかったため。	
4-3. 今後の計画		最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
		令和9年4月の次期DX推進計画施行に向け、骨子案や素案の作成、議会やパブリックコメント等の手続きを進める。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿		令和9年4月から施行される次期DX推進計画が、本市の各分野でのDXを促す内容となり、具体的なデジタル施策を実現させることで、住民が生活の各シーンでさらなる利便性向上を実感できるようにし、住民の幸福度向上に繋げること。	
5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可			
掲載許可		<input type="radio"/> 掲載可	
<div>なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</div>			
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子			
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。			
<div></div>			